

■夢の実現へリニア中央新幹線 ⑥
中央新幹線品川・名古屋間事業説明会が開催されました②

「リニア中央新幹線」計画についてシリーズでお伝えしています。

今月は、昨年10月から12月まで沿線47市区町村においてJR東海が開催した中央新幹線品川・名古屋間事業説明会における主な質問と回答についてお伝えします。

問リニア対策課（☎内線214）

事業説明会での主な質問と回答

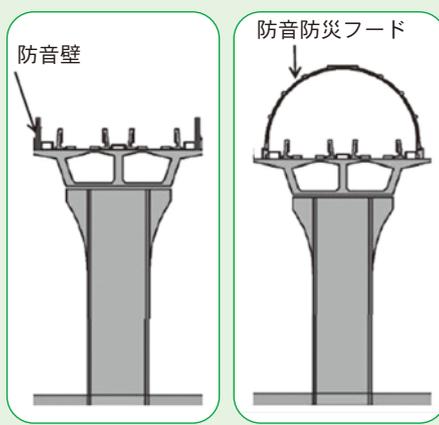
質疑応答では、建設される施設の概要や生活環境への影響などについてご意見・ご質問がありました。

主な質問と回答は次のとおりです。（「JR東海事業説明会における主なご質問」を市で要約）

Q. 防音壁と防音防災フードの配置計画の考え方は

A. 地上区間の環境対策工は、防音壁を基本に考えている。必要に応じて、土地利用対策や個別家屋対策を含めて、総合的な対策を講じていく。ただし、住居などが多く存在している集落の区域や病院などの保全施設が近

くにあるところは、防音防災フードを計画する。今後、自治体などと調整のうえ、最終的に決定していく。



Q. 井戸や河川の調査は、どのように行うのか

A. 井戸、湧水、地表水などの調査については、これまでも実施してきたと考えている。個人井戸の利用状況などの調査の具体的な時期や範囲などは、地元自治体と調整のうえ、関係者の方にお知らせしていく。

Q. 中部総合車両基地では、どのような仕事をするのか

A. 車両基地では、車両の留置、

検査、整備などを行い、特に中部総合車両基地では、留置線、検査庫などの設備のほか、工場を併設し、新製車両の搬入・組成（編成として組み上げること）や車両のオーバーホール（車両を分解して行う修理や整備）を行う。



工場のイメージ
(東海道新幹線浜松工場の例)

Q. 工用の道路は新たに造るのか

A. 工事で使用する道路は、既存の道路を活用することを基本に、必要に応じて新たに工用道路を設置することを考えている。既存の道路活用にあたっては、現況の道路の状況により、工期間中の待避所の設置や部分的な拡幅、舗装の改良などを行う場合がある。

Q. 事業説明会はこれが最後ですか、もっと説明していただきたい

A. 引き続き工事説明会などの場で、中央新幹線計画に関してさまざまな事項を説明していく。質問や不明な点があれば、工事事務所や環境保全事務所まで問い合わせいただければ、丁寧に対応させていただきます。

その他の沿線都県の事業説明会の内容と主な質問については、JR東海のホームページでご覧いただけます。

坂本まち協フォーラム2015 (仮称) のお知らせ

- とき 2月28日(土) 13時30分～
- ところ 坂本公民館ホール
- テーマ 地方創生とリニアのまちづくり
- 講師 須田 寛氏 (東海旅客鉄道(株)相談役)
- ゲスト 丸山 輝城氏 (中津川商工会議所会頭)
青山 節児 (中津川市長)
- 主催 坂本地域まちづくり推進協議会
- ※参加費無料、申し込み不要
- 問 坂本事務所 (☎68-2001)